

松井田城址保存会発足

市民活動推進補助事業にも認定

4 月より、設立の準備を進めてきた「松井田城址保存会」が 6 月 15 日に正式に発足し、さっそく「安中市民活動推進補助事業」に応募、8 月、正式に認定され、補助金の交付を受けながら活動ができることになりました。

5 月 13 日の新聞報道では碓氷峠県境付近に「豊臣軍の陣城跡」が発見されて、県民の関心も高まっています。私たちは、保存会の活動の目的として、歴史的にも保存状態も極めて良好で価値の高い「松井田城址」をできるだけ早く「国指定史跡」として認定されることを目指して、いろいろな活動に取り組んでいきたいと思っています。是非、多くの皆様に会員となっていただくとともに、安中市のシンボルとなりうる松井田城址の保存活動にご協力をお願いします。

現地探索会の計画

松井田城址の現地説明会を開くためには、現地の状態がどうなっているのか、確かめるとともに、一般の人々が見学しやすいような草刈り、枝打ちなどが必要な個所を確認するために、会員で、松井田城址に登る、探索会を開くことになりました。

現地は、登城路は比較的歩きやすくなっていますが「水の手」や「連続竪堀」などの周辺に下草が繁茂していて、見通しが悪いのと同時に、歩きにくくなっています。当日は 8 人ほどの参加の予定です。

○9 月 10 日 (日)

○13:00 現地 (高梨子) 林道駐車場に集合

○当日は、携帯用ノコギリなど希望

○服装は、長袖、長ズボン、帽子、靴など山登りができるようにお願いします

第一回歴史講演会の講師決定

齋藤慎一先生来る！

・ 11 月 3 日 午後 2 時～4 時

・ 松井田文化会館大ホール

(江戸東京博物館学芸員) 昭和 61 年 (1986) 松井田町が城山林道を計画した際に、文化庁が松井田城址を「国指定」の意向があることを知らせ、松井田城址の価値を初めて松井田町に伝えた方。その後先生の指導で城址全体が測量され正確な地図がつけられました。

大道寺政繁公の供養祭開かる

元松井田城主、大道寺駿河守政繁公の墓地がある、補陀寺 (松井田町新堀) で 7 月 19 日、政繁公の命日に、補陀寺檀家のみなさん、松井田城址保存会の皆さん 20 人ほどが集まって、供養祭が行われました。補陀寺境内の観音堂に安置されている政繁公の木像と掛け軸が掲げられる中、足利住職の読経の後、檀家代表でもある、小板橋治徳会長から「松井田城落城時の苦難」と題して、古文書などの資料に残された落城の時の松井田町、根小屋 (高梨子) の悲惨な記録について講話がありました。その後お墓の前で焼香しました。

